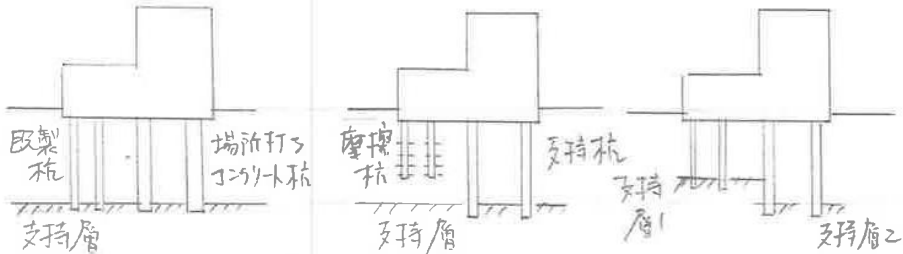


# 平成28年No.20 基礎

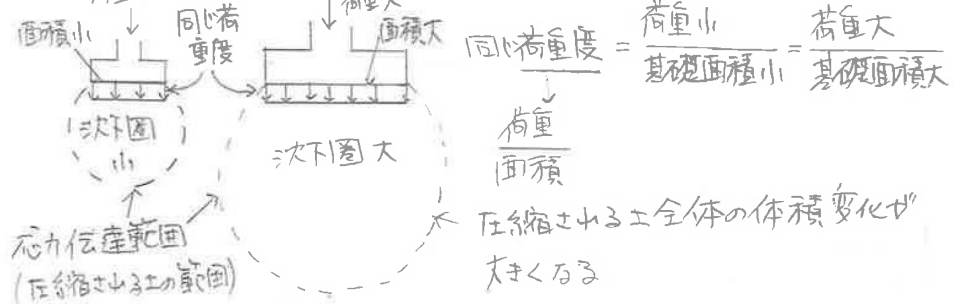
1. 施工方法の異なる杭の併用 → 異種基礎の併用となるので避けることが望ましい
2. 直接基礎の即時沈下量 → 同じ荷重の場合、基礎面積が大きいほど砂質地盤の即時沈下量は大きくなる
3. 杭に作用する水平力 → 地下外壁が負担する水平力に応じて一定の範囲内で低減することができる
4. 直接基礎の沈下 → 上部構造に障害が発生するおそれがある範囲で許容させる

◎ 施工方法の異なる杭の併用 (異種基礎) → 沈下特性が異なり、  
 不同沈下を主とせよ  
 ↓  
 避けることが望ましい

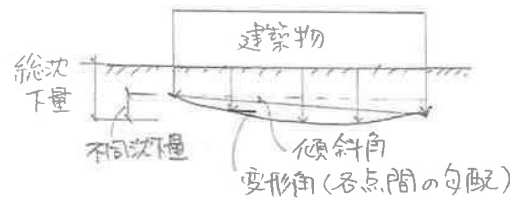


施工方法の異なる杭の併用 ・ 支持機構の異なる杭の併用 ・ 支持層の異なる杭の併用

◎ 直接基礎の即時沈下量 → 同じ荷重の場合、基礎面積が大きいほど大きくなる



◎ 直接基礎の沈下 → 上部構造に障害が発生するおそれがある範囲で許容される



◎ 杭に作用する水平力 → 地下外壁が負担する水平力に応じて低減が可能

